

財団法人茨城県勤労者余暇活用事業団

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	土田 惣一 (非常勤)	所管部(局)課	商工労働部 労働政策課	
所在地	水戸市笠原町978番6	電話番号	029-301-3635	
ホームページURL	www.yamizo.com	E-mailアドレス	info@yamizo.com	
資本金(基本財産)	4,000 千円	設立年月日	昭和49年12月6日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	2,000 千円	50.0 %
	2	(社)茨城県労働者福祉協議会	1,000 千円	25.0 %
	3	茨城県市長会	500 千円	12.5 %
	4	茨城県町村会	500 千円	12.5 %
	5		千円	0.0 %
その他	団体	千円	0.0 %	
設立目的	勤労者及び公的年金加入者並びに公的年金受給権者の余暇活用と福祉の増進のため必要な事業を行うことを目的とする。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内容
事業1 余暇活用センター「やみぞ」運営事業	225,119 千円	福利厚生施設を持たない中小企業の勤労者等に低廉な価格により宿泊サービス等を提供する。
事業2	千円	
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成15年			平成16年			平成17年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤理事	13	0	0	10	0	0	8	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	15	0	0	12	0	0	10	0	0
職員	管理職	2	0	1	4	0	1	3	0	1
	一般職	22	0	0	16	0	0	9	0	0
	臨時職員	0	0	0	9	0	0	14	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	計	24	0	1	29	0	1	28	0	1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	2	3	4	3	12	43歳 月	14年 6月			

[収支の状況]

財団法人茨城県勤労者余暇活用事業団

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	332,706	285,386	338,584
	事業収入	305,839	271,957	256,948
	事業外収入	26,867	13,429	81,636
	支出合計	336,298	304,665	331,983
	事業支出	310,261	277,464	238,574
	事業外支出	26,037	27,201	93,409
	うち管理費	154,984	152,346	131,652
	うち人件費	150,029	125,118	106,922
	当期収支差額	-3,592	-19,279	6,601
	正味財産増加額	0	0	0
	正味財産減少額	0	0	0
	当期正味財産増減額	-3,592	-19,279	6,601
	前期繰越正味財産	-38,887	-42,479	-61,758
期末正味財産	-42,479	-61,758	-55,157	
財 産 の 状 況	資産	53,010	53,646	72,965
	流動資産	50,029	51,163	70,874
	固定資産	2,981	2,483	2,091
	負債	95,489	115,404	128,122
	流動負債	24,229	35,243	116,067
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	71,260	80,161	12,055
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	-42,479	-61,758	-55,157	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	13,474	10,115	13,525
	委託金	54,911	53,471	45,640
	貸付金			34,000
	計	68,385	63,586	93,165
	財的関与の割合(%)	21%	22%	17%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	余暇活用センターやみぞ施設等整備補助事業 福利厚生施設を持たない中小企業勤労者の余暇活用と福利向上を図るため余暇活用センター「やみぞ」の温泉ボイラー改修工事、冷温水ユニット定期整備、1階天井ホール改修工事、発電機更新工事、衛生器具改修工事を行った。
委託金	中小企業福祉センター管理委託 茨城県立中小企業福祉センターの管理業務及び使用料徴収事務を委託し、地域の中小企業勤労者の余暇活用と福利の向上を図った。
貸付金	勤労者余暇活用事業団貸付金 余暇活用センター「やみぞ」の円滑な運営のために必要な運転資金を貸し付けた。

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	-6	14	-42.9%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	8	40	20.0%
効率性	9	0	32	0.0%
合計	33	17	102	16.7%

公益法人会計用

財団法人茨城県勤労者余暇活用事業団

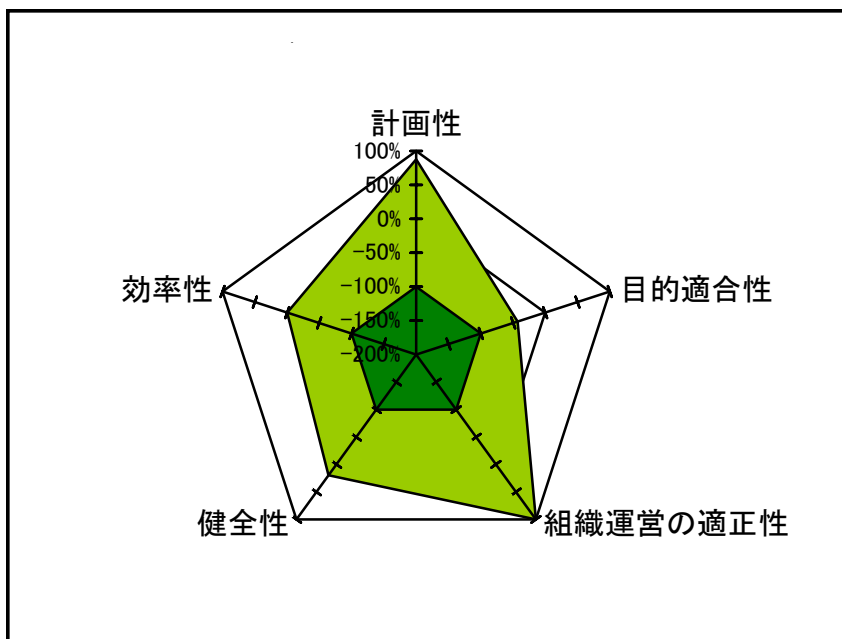
警戒指標

当期正味財産増減額

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成16年度に策定した中期経営改善計画に基づき事業を推進し、職員間においても経営改善に向けた意識の疎通を密にするなど計画的に事業を推進している。	福利厚生施設を持たない中小企業の勤労者等に低廉な価格でサービスを提供しており、その役割は大きい。	全職員に定期的に経営状況を知らせるとともに、関係者と構成する「やみぞ経営改善推進会議」を開催し、役職員が一丸となって運営に努めるなど適正に運営されている。	累積欠損金が5,917万円となっておりその解消が課題となっているが、平成16年度決算においては黒字を計上し、改善のきざしが見える。	平成16年度に大幅な組織の合理化を図り、概ね効率的に運営されている。
今後の事業展開の方向	<p><余暇活用センターやみぞ> 平成16年度に行った給与体系の見直し等による経費抑制の結果、今後の経営は黒字基調で推移する見通しとなった。 今後も引き続き、平成16年度に策定した中期経営改善計画(平成16~18年度)を踏まえ、地域や施設の特性を生かした新たな営業戦略の展開による売り上げ向上や経費の削減に努め、累積欠損金の早期解消を図る。</p> <p><茨城県立中小企業福祉センター> 平成17年3月31日をもって施設を廃止</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中期経営改善計画等に沿って概ね適正に運営されている。	設立当初の目的に沿って概ね適正に運営されている。	臨時職員(パート)の比率が高いことから常勤職員中の管理職の比率がやや高い数値となっているが、職員間の意思疎通も比較的良好であり概ね適正に運営されている。	平成16年度決算においては黒字を計上し、経営改善のきざしが見え始めているが、累積欠損金の減少に向けて今後とも更なる経営努力の継続が必要である。	経営改善の結果、効率的な運営体制の基盤は整ったが、今後はサービスの質の低下を招かぬよう配慮しつつ効率的な運営を行う必要がある。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況		推進事項 各種販売商品の企画開発やリピーター対策に重点を置いた積極的な営業活動を実施するとともに、経費の節減を図り、さらに民間の経営ノウハウの活用や従業員研修の充実による資質の向上及び接客サービスの向上、地域特産品を活用した新規メニューの開発などにより施設の魅力向上に努める。	取組み状況 中期経営改善計画に基づく、組織の合理化や経費の抑制等の経営努力の結果、平成16年度決算は黒字となった。今後も更なる経営努力を重ね、累積欠損金の解消に努める必要がある。	
法人担当課の意見		中期経営改善計画に沿った「人件費の見直し」「組織の合理化」「材料費の抑制」等の経営努力の結果、平成16年度決算においては黒字を計上し、経営改善の成果が現れ始めている。しかしながら、未だ59,175千円の累積欠損金が残されていることから、当該法人としては、平日利用者の確保等により、さらなる利用者及び売り上げの増加を図り、累積欠損金の削減に向けて努力を重ねていく必要がある。		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">改善の余地がある</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>平成16年度は、中期経営改善計画に基づく組織の合理化や、経費の抑制等経営努力の結果、当期正味財産増減額が黒字化した。依然として債務超過の状態が続いている。</p> <p>勤労者の福祉増進を目的として当法人が運営する宿泊施設の利用客が減少し続けているということは、当法人の設立目的が既に達成され、今日その必要性が問われていると言わざるを得ない。経営悪化の防止に努めるとともに民間への施設譲渡を検討し、困難な場合には早期に当法人の廃止を検討すべきである。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>中期経営改善計画に基づく経営努力の結果、今後の経営状況は黒字基調で推移する見通しであることから、引き続き経営努力を重ね、累積欠損金の早期解消を図るとともに、関係者の意見を聞きながら今後のあり方について検討を行っていく。</p>

＜ 財団法人茨城県勤労者余暇活用事業団 から県民のみなさまへ ＞

余暇活用センター「やみぞ」では、地元産の旬の素材を利用した料理、リンゴ風呂や檜風呂など季節で変わる大浴場などをご用意しております。自然づくしのおもてなしで従業員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

平成18年2月 理事長 土田 惣一